

第十九回 參議院内閣委員会會議録

昭和二十九年五月十三日(末曜日)午後
二時二分開会

出席者は左の通り。

三

植竹 春彦君

石原幹市郎君
西郷吉之助君
白波瀬米吉君
八木幸吉君
三浦義男君
竹下豊次君

國務大臣

政府委員

行政管

管行

本日の会

一政機興聯

1

員会を弱

行政機關職

行水之圖

質問を統

あります

の頃毎年

常
勢
い

常な勢い

小酒井義男君	植竹 長島 竹下	春彦君 銀藏君 豊次君	西郷吉之助君 白波瀬米吉君 八木 幸吉君	石原幹市郎君 塚田十一郎君 大野木克彦君	岡部 史郎君 事件 三浦 義勇君	大野木克彦君 只今より内 事件 一部を改正す (衆議院送付)	長官に対する 事件 一部を改正す (衆議院送付)	お問い合わせいた る国会では總理 を統えるというの が最終の狙いである
小酒井義男君	植竹 長島 竹下	春彦君 銀藏君 豊次君	西郷吉之助君 白波瀬米吉君 八木 幸吉君	石原幹市郎君 塚田十一郎君 大野木克彦君	岡部 史郎君 事件 三浦 義勇君	大野木克彦君 只今より内 事件 一部を改正す (衆議院送付)	長官に対する 事件 一部を改正す (衆議院送付)	お問い合わせいた る国会では總理 を統えるというの が最終の狙いである
小酒井義男君	植竹 長島 竹下	春彦君 銀藏君 豊次君	西郷吉之助君 白波瀬米吉君 八木 幸吉君	石原幹市郎君 塚田十一郎君 大野木克彦君	岡部 史郎君 事件 三浦 義勇君	大野木克彦君 只今より内 事件 一部を改正す (衆議院送付)	長官に対する 事件 一部を改正す (衆議院送付)	お問い合わせいた る国会では總理 を統えるというの が最終の狙いである
小酒井義男君	植竹 長島 竹下	春彦君 銀藏君 豊次君	西郷吉之助君 白波瀬米吉君 八木 幸吉君	石原幹市郎君 塚田十一郎君 大野木克彦君	岡部 史郎君 事件 三浦 義勇君	大野木克彦君 只今より内 事件 一部を改正す (衆議院送付)	長官に対する 事件 一部を改正す (衆議院送付)	お問い合わせいた る国会では總理 を統えるというの が最終の狙いである
小酒井義男君	植竹 長島 竹下	春彦君 銀藏君 豊次君	西郷吉之助君 白波瀬米吉君 八木 幸吉君	石原幹市郎君 塚田十一郎君 大野木克彦君	岡部 史郎君 事件 三浦 義勇君	大野木克彦君 只今より内 事件 一部を改正す (衆議院送付)	長官に対する 事件 一部を改正す (衆議院送付)	お問い合わせいた る国会では總理 を統えるというの が最終の狙いである

わけであります。そこで今度機構と人員整理を別々に分けて考えてみますと、機構の部分はななくこの間もお答え申上げましたように、一部分だけこゝう少しすつやつて行くということは実際問題としてはこれは案を立てるのも、又国会側の御了解を得ることもむずかしい、従つて若し機構に手を付けろということになりますれば、先般も申上げましたように総合的にまとまつたもの、これは幾たびかひつておりましたし、國の情勢が大分落着いておりますから、今度やつたならば相当終戦後、つまり平時の状態にふさわしい機構になる様に徹底的なものと、こういうふうに考えられるわけです。そこでもう少し慎重に検討したいといふ機構面の結論が出て参つたわけであります。人員整理のほうも御指摘のように一気にやるか、又今度政府が考えておりますように少しづつやるかということがあります。少しづつやる場合に非常に困りますことは、毎年々々整理をするからして落着かない、行政官庁の職員の諸君が落着かないといふ、非常な弊害、欠点があるのでござりますけれども、その点を若し別に考えますならばいろいろ観点からは私は人員のはうはむしる少しづつ毎年やつて行くという考え方も決してこれは捨てるべきではない、こういうように考えられるわけであります。それはまあ実際にやつてみて私もしみじみとそういう感じをいたしたのであります、なか／＼この板に機構をや

りましても恐らくそういう問題が出て来ると思いますが、これだけ機構が縮小になつたからといふようなことでこれだけ人員が整理できるということは数字的に出て参ります。事務の場合は勿論そうであります。ですからして結局機構や事務を大幅にやりましても、その場合に数字の上に出て来る整理人員の数といふものは、やはり何かの目安で別の観点から立てたもの、そして機構の改革や事務の整理がその裏付になるといふふうな形に必ずなると思うのであります。で、そういう場合にこの数字を出すといふことが非常に困難であるといひたしますと、やはり少しつづやつて行くといふほうがまだ各行政官庁としては受け入れやすい。それともう一つ考え方をすることは、昨日も参考人の御意見にもあつたそろでござりますが、受入態勢ができるといふのじやないか。私どももそのように感ずるのでありますと、職を離れる人たちの立場というものをどういふふうに考えて行かなければならぬかといふことになるのであります。これはまあ私ども抽象的にものを見るならば極めて簡単なんでありまして、それは我々のこととに我々の党の政策としまして、又今政府の考え方をいたしましては、産業であるが行政官庁であろうが、そこに仕事の量とマッチしない無駄な冗長があるならばそれをはずしてそろして又そういうものを頭において、浮いただけのその無駄があるといつよくなことをつまら體のなふ人を頂こお

いて藍業計画なりを考えて、別の面でそれを吸収するということになるのです。あります。が、併し実際計画としては、日のように経済環境のときになか／＼す場合には民間でも人員を減したい。という時期にぶつかっているのでできない。従つて受入態勢ができるしない。とおつしやるが、それは今の状態では御納得の行く受入態勢は而も早急で起きるといふことは考えられない。そこまであそういうことも頭におきながら整理はする。併しそんなに無理は起きない。広いこの社会構造の中ではありますから、まあ或る程度の人たちがおやぢらしくふうもあると思いますから、そういうところを狙つて待命制度でありますとか、退職金の割増でありますとか、そういうことを考慮し、勿論政府としても全然事後の対策を考えねばいけません。いろいろな面で労働者の協力を得てやつておりますけれども、そういうものを総合的に見て、どう大きくおやめになるかたに困難の出ないような組織というものを考えますと、やはり一気にたくさんとひうことよりも、逐次整理者を出して行くといふことが又その面からも理由がある。こういふ考え方方が整理を人員の場合には少しでもできるときにはやつて行く、ことういう考え方になつて参るわけであります。

—

○三浦義男君 そうしますとやはり毎年毎年こういうような整理の仕方が起り得るというお考えでござりますね。

○國務大臣(塚田十一郎君) これはますからして、この状態が認識の上に変つて参りません以上は、新しく更に整理をすることは理窟の上では考えられませんのであります。まだ適去幾くたびかやつてみた例でやはり或る段階まで落ち着いてみますと、まだ成るほど無駄があつた、まだ整理する余地があつたというような状態が、これはむしろ出て来るのじやないか。そういう点が若し考え方のならば又そのときに同じような考え方でやつて然るべきである。それでもあこれが本当に今度の整理で成るほどもう少し整理して然るべきものだと思つておつたが、もうこれできり／＼だ、若しくは今度の場合は少し行き過ぎがあつたというような現実を認識せざるを得ないような事態が来れば、それはもうそれ以上の整理といらものはあり得ないわけであります。併し恐らく実際今日の問題としては、行政機関の実際問題としては、私は今成るほどこれ以上無理だという感じはしますけれども、併しそれを消化して落ち着いてみると、まだやはり整理する余地がある、という事態が出て来るのじやないだろうかといふように私どもは見ておるわけあります。

○三浦義男君 私も昨日の組合あたりの公述人のお話を聞いておりまして、それは仕事のやり方によつては、或いは役所の設置の仕方によりまして

はあると思うのです。あると思いますから、そういうようなことを先ず初めに考えられて、それに伴うものをおやりになつたらばよろしいんだといふように考えたわけなんです。でつきましてはこの予算の失業対策の費用の増は、人員の増として五%くらいの失業が二十八年度、二十九年度は多くなるんです。たま／＼今度の人員の整理といふものが六万人やるんだ、その中の六〇%を二十九年度にやるんだ、こうしますと、たま／＼その数があびつたりではありませんが符合して来るふしがあるのですね、総数において。私はだから若しこれは来年、三十年度の考え方として失業対策費の中で人員の整理が一〇%失業対策のほうを多く見るんだというようになると、又一〇%くらいのものがやられるんじやないだろうかというようなそういう気持がああしたわけなんです。それとの関連はございませんですね。

員増を見せておるんだと言つておられるのです、予算の説明では。たま／＼今度の整理を見ますと今年の二十九年度の整理が五分くらいに当ります。これはたま／＼符合かも知れないのであります。だからそれとの睨み合いで今度けけれどだけふえるのならそれとマッチしないうながつこうでふえるんじやないだらうかといふ気持がするんですが、そういうことは今のお話ではないんですね。

○國務大臣（塚田十一郎君） 結論的に申上げますなら、そういうことはないのです。

○三浦義男君 今度の人員整理をして申上げましよろ。人員整理をおやりになつて人員の査定なんかをすうつと各官庁について御覧になつたと思うのですが、その官庁の中で人員のこの査定の標準が、この官庁がどの官庁よりもまあ或る程度理想的に行つておるんだといふよろにお感じになつておる官庁がございませんでしようか。どこかそういうような、これはよさそうだという感じの官庁はなかつたですか。

○國務大臣（塚田十一郎君） お尋ねの焦点は今度まあ行政管理廳と各省との話合で出た各省別の整理数で、例えは農林省が七千ぐらいであつたらば、これだけ農林省が整理をしてくれば大体考え方通りだと、こういうように認定のできる状態になつておるが、こういふお尋ねでございましよろか。そういう観点から各省のあれを見まするならば、私は今年のこの各省の整理数は大体今の状態ではその程度でやむを得ないだらう、よく協力してもらつたと、こういうようにむしろ感じられるので

よ 例 は こ す い い 者 の 人 が 機 い に 事 そ た 人 ま い り つ た 保 の あ も の 別 け 初 じ 点 じ

昭和二十九年五月二十五日印刷

昭和二十九年五月二十六日発行

参議院事務局

印刷者 大蔵省印刷局